

## 生産活動開拓モデル事業 事業計画書(変更)

法人名: 社会福祉法人豊中きらら福祉会

事業所名: 第2工房「羅針盤」

サービス種別: 就労継続支援B型

対象事業	(1)新商品の開発及び既存商品の改良事業
事業の内容	①【製菓部門】焼きドーナツのまとまった注文に対応するなど、顧客のニーズにお応えし、かつ安定した品質で作製できるように設備の拡充を図る。 ②【紙漉き部門】手づくり和紙の品質を向上するため、精度の高い木型を導入する。製品の幅を広げ、多様な商品展開を目指す。
スケジュール	12月より新規機材を導入し、既存の製品の品質向上と新規商品の作製に取り組む。
事業の目標・期待される効果 (※1)	①【製菓部門】大口の注文や、複数の注文に応えることができる。生産量を安定させることにより、販路や委託販売先の拡大につなげることが期待できる。 ②【紙漉き部門】安定した生産体制を構築することにより、四季折々のバリエーションに富んだ製品を作製することが可能となる。 ①②ともに、品質の向上につながるため、結果多くの顧客に授産製品を手にとっていただき、障害者作業所としての取り組みの周知につながる。
必要経費	162,800 円
経費の内訳 (※2)	オープンレンジ44000円×2台 88000円 消費税8800円 合計96800円  紙漉き枠32000円×2セット 64000円 送料2000円 合計66000円  総計162800円
交付申込額	162,000 円
担当者名・連絡先	高瀬 康次郎 06-4865-5525 takase@koubou-rashinban.com

※1 「事業の内容」、「事業の目標・期待される効果」について、可能な限り具体的に記入すること。

※2 「経費の内訳」が確認できる書類(見積書等)を添付すること。

## 生産活動開拓モデル事業 実績報告書

法人名: 社会福祉法人豊中きらら福祉会

事業所名: 第2工房「羅針盤」

サービス種別: 就労継続支援B型

対象事業	(1)新商品の開発及び既存商品の改良事業
事業実施前の状況・課題	①製菓(焼きドーナツ)作製のためのオープンレンジが老朽化している。焼きむらも生じているため、新規購入が必要である。 ②紙漉き製品の作製のための木型が老朽化している。和紙の品質が安定しないため、新規購入が必要である。
事業の内容	①【製菓部門】焼きドーナツのまとまった注文に対応するなど、顧客のニーズにお応えし、かつ安定した品質で作製できるように設備の拡充を図る。 ②【紙漉き部門】手づくり和紙の品質を向上するため、精度の高い木型を導入する。製品の幅を広げ、多様な商品展開を目指す。
事業の実績・効果 (※1)	①【製菓部門】 オープンレンジを2台が常時稼働できることで、これまでより生産性が向上し、より多くの注文を受けることや、納期に余裕を持つことが可能となった。焼きむらも改善され、品質向上にもつながった。焼きドーナツ以外の焼き菓子も検討していく。 ②【紙漉き部門】 木型と網が新しくなったことできめ細かな紙を安定して漉くことが可能となった。生産性が向上したことで、試作品などに回すことのできる紙の数量が確保でき、新製品の開発に着手できるようになった。
今後の課題・取組み	①生産数は向上したが、それにつながる安定した受注先の確保が重要となる。消費期限の管理や異物混入などにも細心の注意を払う必要がある。 ②試作品で留まることなく、実際に販売できる新製品をつくっていく。和紙の原材料となる牛乳パックの入手先を増加させる必要がある。
対象経費の支出済額	169,400 円
経費の内訳 (※2)	オープンレンジ44000円×2台 88000円 消費税8800円 合計96800円  紙漉き枠32000円×2セット 64000円 送料2000円 合計66000円 消費税6600円 総計169400円
補助金所要額	162,000 円
担当者名・連絡先	高瀬 康次郎 06-4865-5525 takase@kouhou-rashinban.com

※1 「事業の実績・効果」が確認できる資料(事業実施前との比較、成果物等がわかるもの)を添付すること。

※2 「経費の内訳」及び支払った事実が確認できる書類(領収書等)を添付すること。

第2工房「羅針盤」【製菓部門】



オープンレンジを2台導入。1台につき、1度に最大12個焼き上げ可能で2台では24個焼き上げ可能となります。  
生産数がUPするので、新たな販売先を探すきっかけとなっています。



焼きむらも減少し、安定した品質で焼き上げが可能となりました。焼きドーナツだけでなく、他の焼き菓子の開発も視野に入れることができるようになりました。

第2工房「羅針盤」【紙漉き部門】



木枠が新しくなることで、凹凸や厚みのむらも少なくなり、紙の品質がよくなりました。  
廃棄ロスも減少し、より多くの紙を作製することにつながりました。



生産性が向上したことによって、より多くの製品をつくるのが可能になっただけでなく、新製品の試作などにも活用できるようになりました。  
お客様のニーズや季節に合わせた商品をつくり、売上UPにつなげることができます。